

平成26年 (2014年) 9月26日 (金曜日) (3)

有明高専から3年連続

高田さんがタイの国際学会で入賞

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校(福島健郎校長)専攻科一年、高田文哉さん(21)はタイで開かれた国際学会に参加。画像処理によるビリヤードの初級者支援システムの開発について発表し、ベストペーパーアワードを受賞した。有明高専から同学会で入賞するのは三年連続。



賞状を手に笑顔の高田さん

高田さんは生産情報システム工学専攻。八月二十八、二十九日にタイ・チェンマイで開かれた国際学会「1st ACEIAT and 3rd JTS TE 2014」に参加。電気や機械系統の技術とその教育についての学会で、「キュー検出によるビリヤード初級者支援システムの開発」をテーマに論文を提出した。

同システムでは、ビリヤードテーブルの上に設置されたUSBカメラでボールの位置を読み取り、キューの直線を検出して瞬時に軌道を計算。キューをボールに当てるだけで、軌道が光で照らし出されるようになった。同学会にはタイ、日本、中国、韓国などから参加があった。七十件の論文が発表され、そのうち十件が入賞。国内も含めて学会に出るのが初めてだった高田さん。論文執筆も発表も英語で行うため、飛行機の中でもひたすら発音を確認。本番は「緊張し過ぎて、あまり記憶がない」というが、指導者の菅沼明教授は「きちんとした英語をしゃべり、質疑応答にも問題なく答えていました」と話す。

入賞を聞き、「最初は信じられず、まさかと思いました」と高田さん。図をたくさん入れて分かりやすくしたのが、評価されたのかも。しれません。資料や文章の書き方など、分かりやすく伝えるための方法をたくさん学ぶことができました」と話していた。

(河野 美緒)



軌道を光で示す初級者支援システム